

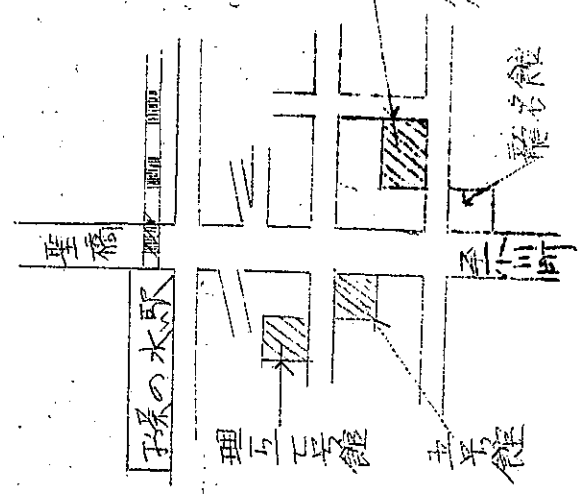
日本大当理工学部

受験生諸君へ!

68年の4月の20億脱税から始まり、5月の暴起、そして日大始まり、以来の金巻バリエーションストライキ、3万余の学友を集めて行われた9月30日の大衆闘争。このまわりの中、一定程度の勝利を得たと思われたとき、日大当局は佐藤自民党政府とのつばかりを暴露してききました。多くの学友は日大当局との何れの前戦に勝ち得ないのだという現実を真の当りに見せつけられまいきました。このまわり経過の中、先頃、口伝を通り、日大当立の真意が着々と行われ、ます。そのいくつかの現実を見るには、君達の受験している理工学部においては、全校舎がムートルにも及ばない鉄板の柵をめぐり、中には鉄棒をのさばりし刑務所の様になりました。当内には学友が討論をし、新聞等を行ったりするのために使用し、理工学化学科、薬学科の幹事会室を日大当局は、この活動も弾圧しようと、初めは部屋に鍵をかり、それを学友が自力で使用する。次に扉を厚い鉄板で塞ぎしめて封鎖してしまつてあります。又、一長館の自治会室も同様に鉄板で封鎖されてあります。ついでにも正統の研習室の部屋も同様に封鎖されてあります。昨年10月には機械科の学友が主催して井上清氏の講演会を4百名の学友の参加をもつて行つたところ、翌々日には最良、学部長名にらるる町内への集會及び他大学、他学部の教職員、学生の立入りも禁ずるといふ告示が出された。このまわり日大当局による弾圧は9・30に日大当局が私匿に強約したるといふも全く無視してしまつた。彼等が私匿に強いるものは、つぎら、記帳下りの生活といつても、木、木、状況なのだ。この腐敗しき日大は、君達新しき同志、友人の団結と私闘との団結と果敢をもつて徹底して破壊して行くおぼはならない。受験生諸君、腕をこめて入學して来なくおにきえ。人民のために大学を解放するための闘いの場をきえられたいともし、かりと小きえ!

金巻闘争会

春季日大解放闘争勝利!
 三・七 69から70新入生、卒業生
 討論集会に結集せよ!
 日大下らニヒツツ体制粉碎!
 帝口主義大学体制粉碎!
 安保粉碎、学繩斗争勝利!



場町お茶の水電通会館二時